

## 山形県防犯設備協会の活動について



山形県防犯設備協会 会長 堀江 俊輔

### 1. 設立趣意

「山形県防犯設備協会は、防犯設備士の専門的な知識、経験の活用を図り、紅花の国山形を犯罪の起こりにくい、県民の安心で安全なまちづくりを目指し積極的に活動する。」ことを理念として設立されました。

当協会は、山形県警察本部・山形県・(社)山形県防犯協会連合会・(社)山形県警備業協会等のご指導ご協力の下、平成19年9月12日に設立しお陰さまで5年目を迎えています。

防犯の色である青を基調に  
SecurityのSと山形県の母なる川  
最上川をイメージした曲線を配した  
協会のロゴマーク（平成23年度制定）



### 2. 総会

平成24年定期総会は6月21日に、日頃から協会運営においてご指導いただいております山形県警察本部生活安全企画課長 太田 正則様、日本防犯設備協会広報担当部長の友廣 一成様をはじめ多くのご来賓からご臨席を賜り、無事終える事ができました。

特に今年度は3つの委員会活動を通じて全会員の協会活動への具体的な参加を促していく事、協会ホームページとしてfacebookを活用する事によって協会及び防犯設備システムの認知度を向上させて行く事を確認しました。

総会に引き続き、山形県くらし安心課の木ノ内主査様から今年度からスタートした「第2次山形県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画」についてご講演をいただきました。施策の概要、刑法犯の

認知・検挙状況、そして具体的な展開策を新たな取組を中心にご説明をいただき大変わかりやすくユーモアを交えたお話に、協会会員からは時間を忘れての質問が相次ぎ、時間を超過してのご説明をいただきました。さらに、昨今の監視カメラについての講演を山形パナソニック株式会社 荒井様から新旧カメラの画像比較を中心にご説明をいただきました。

丁度、元オウム真理教信者高橋克也容疑者が監視カメラに写った映像によって逮捕された直後であり、会員の関心も高く時機を得た内容であったため、説明が終了した後も説明を求める会員が多くあり、大変実のある総会となりました。



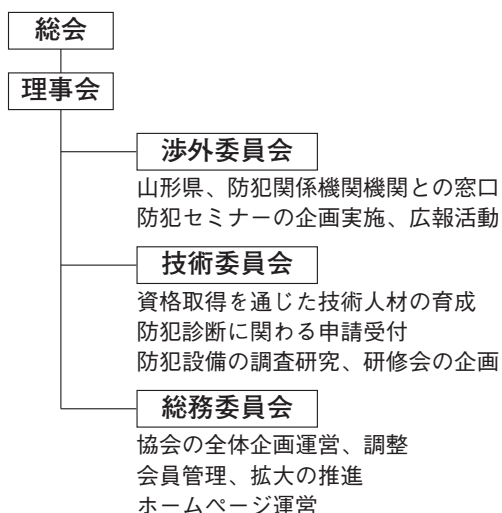
定期総会 堀江会長挨拶



定期総会 講演会

### 3. 活動報告

昨年度から理事会において検討継続してきた委員会活動を今年度から具体的に推進しています。委員会は協会の事業計画の確実な実行など協会目的達成を目標として3つの組織から成り、体制と役割は図の通りです。



#### ① 渉外委員会

防犯出前講座を中心に山形県警様、地域防犯関連団体様との共催で開催、防犯セミナー、防犯診断に関する広報活動、全国・地域安全運動など積極的に参加しています。

さらには公共地下道、公園などに設置された防犯カメラの点検確認を警察署員、市町村職員を対象として昨年度初めて開催しました。

天童警察署管内の地下道2箇所、公園1箇所の計3箇所について、既に設置運用されてから数年から10年を経過する防犯カメラシステムの動作を確認し、定期的な点検が必要である事を認識しました。具体的には、カメラのフォーカスと画角、レコーダーの記録・再生動作を確認しシステムに問題はなかったものの、システム設置当時と死角防止のミラーが交換されており、記録された映像に死角が出来ていたことや、ハウジングカメラのフォーカスがずれている事などを具体的に説明させていただきました。

また、公園においては設置後10年の間に周辺の住宅件数の変化などによってカメラ台数の不足、画角の変更などの必要性についても防犯設備士としてア

ドバイスをさせていただきました。

今後も、各市町村や警察署からの要請に応じて開催していきたいと思っています。



天童警察署管内の地下道防犯カメラの動作確認



中山いきいき教室での防犯出前講座（提供：山形県）

## ②技術委員会

防犯設備士資格取得に向けた研修会、防犯設備の技術研修会などの企画と開催を中心に活動を行い、会員の受注拡大にも貢献しています。

ここ数年、研修会は防犯カメラを中心に会員各社が講師となって開催しています。アナログカメラ、ネットワークカメラの特長、簡易的にSDカード記録による低価格提案研修などを通じてはじめて防犯カメラ販売に結びつける会員があり、確実に成果に結びついてきていると感じています。

また、この実務経験を通じて防犯設備士資格取得に向けても、会員の挑戦に対して協会として僅かではありますが奨励金を拠出させていただく事など、小さなことから防犯設備士資格取得への取組を継続しております。一昨年、昨年と会員企業から取得者を出す事ができています。

## ③総務委員会

今年度から、協会ホームページとしてfacebookを活用する事が総会において決まり、会員企業の中でもITに強い会員を中心に研修会の企画と運営を始めています。これまでも、ホームページによる協会、及び防犯設備のPRは行っていましたが、悩みは情報の更新が適時に行いにくいことと、どうしても興味のある方から見に行ってくださいが必要であり、うまく機能していなかったとの反省から、既にfacebookを使用している会員を中心に協会としてのページを作成しました。

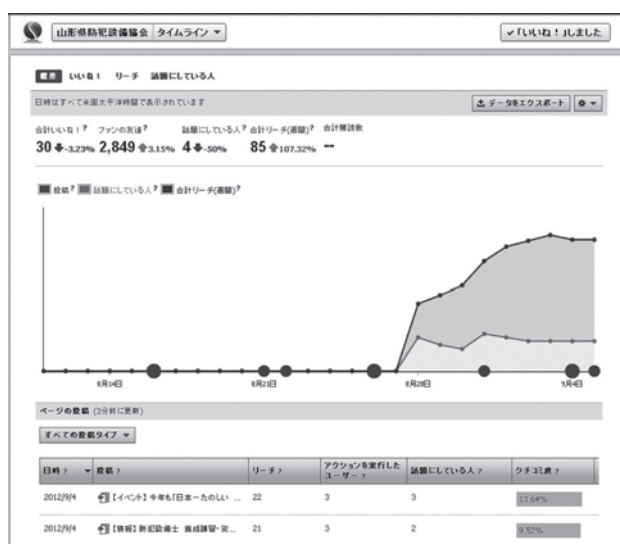
また、1回目のfacebook初級研修会を企画、開催することによって、会員同士のつながりも広がり深くなってきていると思います。

現在は会員の紹介を定期的に行っておりますが、今後は山形県もfacebookページを運用しており、広く連携することによって地域の皆さんの役立つ情報発信を行うことで、防犯活動にも結びつくよう模索していく予定です。

他地域協会の皆様からも是非一度アクセスしていただいて、感想やアドバイスをいただけましたら幸いです。



山形県防犯設備協会facebookページ  
<http://www.facebook.com/ssa.yamagata>



週単位でfacebookページを見てくれた人数が判り、更新するタイミングを考えたり掲載する情報にも力が入り張り合いが出てきます。

## おわりに

震災後、早いもので1年半を迎えようとしています。山形県は大きな被害も無く、当時は官民含めて被災地への人的、物的支援の供給基地としての役割を果たそうと必死になっていたことを思い出します。現在でも山形県内には12,000人の方々が非難されています。そして、安心・安全に対する要求も大きくなってきている事を感じています。これを契機として協会内の協業を通じて事業拡大を目指してまいります。